

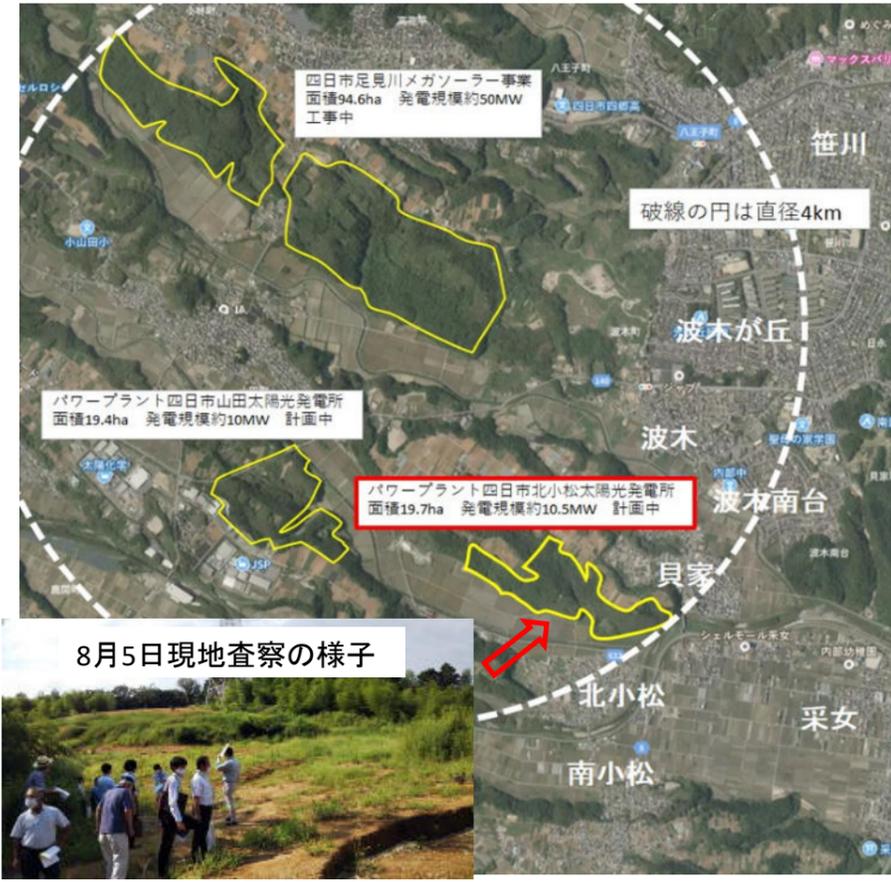
8/2 夏休み防災教室 子どもの防災ずきんを作ろう！

子ども9人、保護者5人の14人が参加、女性防災ドリームステップメンバー5人を加えた計19人で開催しました。女性防災ドリームステップは結成して3年目になり、「子どもたちの防災意識を高めることで若い親世代にも伝わってほしい」という思いで、今年も夏休み講座を開催することにしました。防災ずきんや新聞紙スリッパを手作りして使い心地を確認しました。今回は、おじいちゃん、お母さんの参加もあり、防災を楽しく学べた2時間でした。



9/3 北小松に大規模ソーラー発電所

北小松町の北、貝家町から西に向けて鎌谷川左岸段丘の平坦地に、事業規模19.7ha、発電量約10.5MW(パネル数約17,600枚)の大規模太陽光発電所計画(事業名:パワープラント四日市北小松太陽光発電所)が進められています。三重県の環境影響評価条例に則って、事業者(合同会社地域共生発電所)による簡易的環境影響評価書の縦覧、四日市市による専門部会及び現地査察が行われ、県においても、環境影響評価委員会による評価書の審査が行われました。北小松の事業を含む4kmの円内には、すでに工事が始まっている足見川メガソーラー事業(山田町・小林町・波木町 94.7ha)およびパワープラント四日市山田太陽光発電所事業(山田町19.4ha)があり、近隣地域の貴重な里山が急激に消えようとしています。(下図参照)



6/30 NHK番組「日本人のおなまえ」 采女の杖突坂・血塚社が登場



10月21日(木)、三重県を特集したNHK番組「日本人のおなまえ」で三重の名前の発祥の地として四日市市采女の杖突坂、血塚社が紹介されました。番組看板の法被を着たディレクターが杖を突き、喘ぎながら杖突坂を上り、倒れこんだという場面に四日市市博物館広瀬学芸員が登場して、三重の名前が古事記に書かれている倭建命(日本武尊)の「三重の勾(まがり)のように疲れた」という故事由来することを解説されました。広瀬氏は倭建命の言葉にある勾(まがり)とは米や小麦の粉をこねてひも状にした生地をねじって油で揚げた「勾餅」のことであり、「三重ノ勾」とは足が腫れて「三重に曲がった勾餅」に譬えたことを粘土を使って勾餅の形を作って示しました。郷土内部地区の史跡、采女町の「杖衝坂」、「血塚社」が広く全国に向けて発信されたことは大変喜ばしく誇らしいことです。



取材撮影は取材班4名が杖突坂に4か月以上前の6月15日に来て行われたものです。2時間にわたる取材の後、傍のうつべ町かど博物館で記念撮影。取材から放送までにこんなにも長い時間をかけて作られることが分かったのも驚きでした。

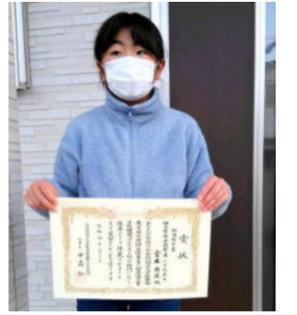
1/8 新春グラウンドゴルフ大会



内部東小学校グラウンドにおいて内部地区社協体育部主催、うつべ☆スターが運営実施したグラウンドゴルフ大会が行われました。今年度の多くのイベントがコロナ禍で中止に追い込まれる中、例年10月に行われるこの大会も延期されていましたが、屋外かつ密になりにくい競技であることから新規感染者数の減少を待ってこの時期に行われました。参加者は46名と例年の1/3となりましたが、好天に恵まれ新春の打ち初めを楽しんでいました。この試合は四日市市地域社会福祉協議会連絡協議会が行う地区対抗グラウンドゴルフ大会(3月1日火曜日、四日市ドーム)への出場選考を兼ねて行われ、成績上位10名が出場となります。

2/1 東小学校児童の夏休み自由研究 全国コンテストで「科学賞」を受賞

10月21日(木)、植物の生態に興味をもつ内部東小学校5年生の宮本侑佳さんが夏休み自由研究の調査中に絶滅の恐れのある「ヒナノシャクジョウ」を発見したとして昨年11月に中日新聞などで報道されましたが、このほど宮本さんがまとめた「シダとコケの違い」の作品が全国児童才能開発コンテストで「科学賞」を受賞しました。宮本さんの研究は、自宅裏山の公園や森、通学路に生えているシダやコケ60種類以上を採取・標本にし、名前や生態の違いなどを図鑑や植物誌などで調べまとめたもの。この調査の中では絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ヒナノシャクジョウ」が発見できたことをはじめ、シダ胞子の培養研究などその高度な科学的内容が評価されて公益財団法人才能開発研究財団が主催するコンテストの受賞となったものです。



2/1 内部東小学校の新しいトンボ池と成育環境の整備 令和3年度内部ホテルの会活動報告書



内部のホテルを育てる会が例年行っている秋の報告会はコロナ禍のため中止となり令和3年度版報告書が関係者に配布されました。報告書では例年各自自治会が行っていたホテル観察会こそ中止されましたが、各地の生息調査結果や内部小学校、内部東小学校の両校で行う農業体験教室やホテル教室開催への支援などの活動が報告されています。

特に新しい活動として、昨年度から取り組んでいる内部東小学校トンボ池の周辺を整備して新たに40mの池を作り水の流れを設けるなどのホテル生育環境を考慮して完成しました。更にザリガニ駆除を施し、県内のホテルネットワーク関係者から提供されたホテルの幼虫及び餌のカワニナを放流して新しくホテルの里を造る様子が詳しく記されています。

2/18 姿を見せた内部川橋梁(橋の名称が近々決定)

四日市鈴鹿環状線は四日市市東富田町を起点として市中心市街の西外周部を通って鈴鹿市玉垣町を結ぶ県道計画です。内部地区では南部丘陵公園南ゾーンから内部川右岸の一般県道三畑四日市線までの采女北工区の工事が急ピッチで進められ、このほど内部川に架かる139.5mの橋梁がつながりました。



この後、前後の取付道路工事が進められ令和6年度に供用開始とのことです。この橋から南に伸びて国道1号までをつなぐ1.7kmの采女南工区は用地測量がこれから進められようとしている段階であり全線の開通はかなり先となる見込みです。橋の名称については、1)采女大橋、2)令和内部大橋、3)内部川大橋を候補として提出、県側で審査中です。